（様式１）【高等学校用】

令和８年度　岩手県立金ケ崎高等学校経営計画

校長：　千葉　美春

１　校訓・教育目標		真理・前進・友愛の三つの柱のもとに、自己の可能性を追求しつつ、国際的な視野に立って国家及び社会の発展に貢献できる人間の育成を目指す。	
２　スクール・ポリシー	(1)　育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	(1) 確かな学力の上に、国際的視野を持ち、恒久平和と人類の福祉に貢献する人材を育成。 (2) 地域及び社会課題解決に向け、自ら考え、多様な他者と協働してよりよい社会実現に努力する人材を育成。 (3) 明朗で秩序ある学校生活を通し、積極的に行動し、組織を牽引する人材を育成。 (4) 高い志を持ち、豊かな感性や、正義感・倫理観を備えた人材を育成。	
	(2)　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	(1) 少人数教育により、個性や長所を伸ばしつつ視野を広げ、適性や興味・関心に応じた教育課程を編成。 (2) 地域資源等を活用した探究活動を推進し、調査能力、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ能力を育成。 (3) 生徒会活動・ボランティア活動等の特別活動や部活動を通し、人格形成と他者との協働を推進。 (4) ＳＤＧｓ・Society5.0 などについて、出前授業や講演などを通し、実社会を意識した学びを推進。	
	(3)　入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	(1) 多様な価値観を受け入れ、社会に貢献しようとする意欲を持った生徒。 (2) 自ら地域及び社会課題を発掘し、その解決に向け、探究を深めようとする生徒。 (3) 高校生活において自らの良さを見つけ、他者とともに成長していこうとする生徒。 (4) 自らの夢に向かってチャレンジしようとする生徒。	
３　魅力化協働パートナー		小澤興業代表取締役、金ケ崎町社会福祉協議会地域福祉課係長、ロケット広告制作室代表、金ケ崎中学校校長、PTA 会長、県立農業大学校教育部長、国際医療福祉専門学校一関校　専任教員、金ケ崎町地域おこし協力隊 （以上、学校運営協議会委員） 地域代表（白鳥写真展）、元ＰＴＡ会長、農業経営者、金ケ崎町ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会理事長、金ケ崎町教育長、金ケ崎町観光協会、株式会社デンソー岩手	
４　目指す学校像	(1)　今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア　探究的学びの推進による学力向上及び研修への積極参加等による授業力向上	・授業評価「授業の内容がわかる」【全教科平均 85%】
		イ　各種活動や行事等への積極参加を推奨、明朗で品位ある生徒の育成	・学校評価（生徒）「生徒は行事等に積極的に取り組んでいる」【85%】
		ウ　進路選択に向けた的確な情報提供と希望進路の実現	・学校評価（生徒）「HR や個人面談等で進路や生き方を考える機会が設けられている」【85%】
		エ　広報活動等による社会に開かれた教育課程の実現	・学校評価（保護者）「適切な情報発信と開かれた学校づくりが行われている」　【85%】
		オ　学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止～未然防止と適切な対応～	・学校評価（生徒）「職員は生徒の悩みや相談に真摯に対応」【85%】
		カ　生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶する体制・風土を構築	・学校評価（生徒）「安心し、充実した学校生活を送ることができている」【85%】

（様式１）【高等学校用】

	(2)　取組方針	**ア　探究的学びの推進による学力向上及び研修への積極参加等による授業力向上** (ｱ)　授業互見や各種研修等を通して、教職員が相互に学びを深めるとともに、生徒に敬意を持ち、主体的・対話的で深い学びを基にしたわかる授業を実践する。 (ｲ)　地域関係諸団体や企業との連携を深め、協働して生徒が視野を広げて探究的に学ぶ機会を創設するとともに、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上に努める。 (ｳ)　正義と倫理を基調とした地球市民としての役割を自覚し、国際的な視野で地域及び社会課題解決にチャレンジする姿勢を涵養する。
		イ　各種活動や行事等への積極参加を推奨、明朗で品位ある生徒の育成 (ｱ)　多様性を認識し、自他の生命や他者の人権を尊重する責任ある行動ができる生徒を育成する。 (ｲ)　生徒が主体的・自主的に運営する生徒会活動・学校行事・部活動やボランティア等の地域貢献活動を通し、自己実現を図り、主体性や協調性を育む。 (ｳ)　３つの教育的価値「いきる、かかわる、そなえる」を育む復興教育を推進し、いたわりや相互扶助の精神にあふれ、地域を愛し、その復興・発展を支える生徒を育成する。
		ウ　進路選択に向けた的確な情報提供と希望進路の実現 (ｱ)　３年間を見通した体系的進路指導と徹底した面談指導を通し自己肯定感を醸成する。 (ｲ)　いわて進学ネットワーク事業を効果的に活用し、高い志を育成するとともに、生涯を通じた社会貢献を実践する基盤形成のための指導を実践する。 (ｳ)　夢ナビライブ等を活用し、自己のキャリア形成と関連付け、興味・関心から進路研究を進め、自ら問いを見出し探究できる力を育成する。
		エ　広報活動等による社会に開かれた教育課程の実現 (ｱ)　note、学校メール、諸会報、学年通信等で積極的な情報発信を行うとともに、学校ホームページを刷新し、開かれた学校づくりに努める。 (ｲ)　いわての高校魅力化･ふるさと創生推進事業を効果的に展開し、学校の魅力増進に努める。 (ｳ)　PTA・同窓会・後援会及び地域と連携し、組織的に生徒を育成する体制の確立を図る。
		オ　学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止～早期発見と適切な対処～ (ｱ)　平素から教職員相互に積極的に生徒の情報交換を実施し、共通認識のもと対応に従事する。 (ｲ)　いじめアンケート回答に対する迅速で的確な対応及びＳＣや関係機関との積極的連携に努める。 (ｳ)　いじめの被害が疑われる生徒・保護者の意向を的確に把握し、真摯な対応をする。
		カ　生徒の人権を尊重した指導、不適切な指導を根絶する体制・風土の構築 (ｱ)　すべての生徒が安心して学び、可能性を伸ばすことができるよう支援する。 (ｲ)　生徒との信頼関係を理由に、心身に苦痛を与える指導を正当化しない。 (ｳ)　生徒の些細な変化を見逃さず、悩みや不安を教職員等で共有し、対応にあたる。
5　業務量管理・健康確保措置		**・月当たり時間外在校時間の縮減** **・産業医の保健指導やメンタルヘルス相談等の活用促進**